

# PACK ON

2015-2016 No.22

## 岡山細胞検査士会会報

## CONTENTS

岡山細胞検査士会創立20周年に寄せて ～人脈どう宝～

●前口上

お題は「こんなこと、楽しんでます！」

●岡山細胞検査士会役員・実務委員、1年遅れのご挨拶

リレー 他己紹介

●岡山赤十字病院

待望の新シリーズ、スタート！

●山崎友奨のGTO

PCオタク K's Presents

●コンピュータ・ワンダーランド 2015-2016

好評連載

●宮尾行雄の ウンチク三昧 今回のお題「秩序について」

ときどき連載、第5弾！

●今この曲が聴きたい

総力を結集

●大特集・岡山細胞検査士会創立20周年



# 前 回 上

## 岡山細胞検査士会創立二〇周年に寄せて〜人脈どう宝〜

### おめでとう、岡山細胞検査士会 20 周年！

1995 年に産声を上げた岡山細胞検査士会が創立 20 周年を迎えた。無事に成人式を迎え、立派な大人になったというわけである。いや〜、めでたいめでたい。お父さんはうれしいぞ。できることなら晴れ着の一つも着せて、白いフワフワした襟巻きみたいなのを首に巻いてやって、フワフワが鼻の穴に入ってフガフガ、ハクション！なんてところを見てみたい(かなり妄想状態)。

この 20 年の歩みについては、あとの大特集で事細かに語っているのでお読みいただくとして、ここではごく個人的な岡山細胞検査士会とのかかわりについて少し振り返ってみたいと思う。というのも、自分自身の岡山県での業務活動と岡山細胞検査士会の歴史はほぼ同時並行で動いてきたといつてよいからである。幸運なことに、岡手で仕事に就いてほどなく、岡山細胞検査士会が立ち上がり、創立時からその運営をお手伝いすることになった。その後、20 年を経た今も役員として会に関わらせていただいている。20 年の間、役員の席にはずいぶんと出入りがあり、それでもなお現在に至るまでずっと継続して参加しているメンバーは、もはや少数派となってしまった。当初、若手として会に参加し(34 歳頃でした…)、自分の中ではさほどその頃の意識が変わることもなく現在に至っているのだが、客観的にみるとベテランもベテラン、古株もいいところである。わが娘が 21 歳だから、ちょうど娘の成長を眺めるように岡山細胞検査士会の変遷を眺め、寄り添ってきた 20 年だった。

どこかのメーカーのお酒(だったかな…)の CM でこんなコピーがあった。「時は流れない。それは積み重なる。」

光陰矢の如し、のたとえもあるように、過ぎ去ってみればあつという間のような気がする 20 年、それでも確かにその時間は自分の中に積み重なり、自らを支えるバックボーンの一つとなってくれた。会の性質上、切り離すことのできない学術活動からは、さまざまな知識を吸収することができた。これもまた自分の中に積み重なった時間の一部であろう。そしてまた、会を通じてさまざまな方とお会いできたことは、何よりの宝だと思う。沖縄の言葉「ぬちどうたから(命どう宝): 命こそ宝」はとても有名だが、岡山細胞検査士会的には「人脈どう宝」と言い換えてもよいだろう。岡山細胞検査士会あってこそ知り合えた人脈、全国各地の方々とのお付き合いは、何にもまして貴重な財産である。これに勝る宝はないと思う。

さて、岡山細胞検査士会を通じて様々な人々と知り合い、人脈を作っていくには方法があるので、ここでレクチャーしておくでしょう。ぜひ皆さんも実行していただきたい。まず、岡山細胞検査士会の役員に立候補しよう。岡山細胞検査士会の役員立候補には年齢や経歴のシバリはなかったはずだから、誰でもなりたいと思う志さえあれば、なれるはずである。で、役員になったら、会長に立候補する。岡山細胞検査士会会長になると、いやおうなく人脈は広がる。やった本人が言うんだから間違いない。「目指せ、会長！ 広げよう、人脈!!」、これを紙に書いて、壁にでも貼り付けておいていただければ、きっと明るい未来が訪れるであろう(ほんとか〜!?)。

〈藤田 勝〉

2015-2016年度

# 岡山細胞検査士会

1年遅れの

## 役員・実務委員 ご挨拶

今回のお題 「こんなこと、楽しんでます!」

### 会長/小林博久 「楽しんでます、貝拾いとドラマ鑑賞」

皆さんこんにちわ。今年度より会長をさせて頂いている川崎医科大学附属病院・病院病理部の小林博久です。活字でのご挨拶が遅れ申し訳ございません。今回のPACK ONは2月7日(日)に行われた岡山細胞検査士会創立20周年記念講演会・祝賀会に引き続き役員・実務委員の紹介の場として企画されました。この稿で少しでも会員の皆様と役員との距離が縮まり、今後の活動のお役に立てればと思います。

早速ですが、今回の岡山細胞検査士会創立20周年記念の講演会・症例検討会と祝賀会には、大勢の出席を頂き誠にありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。会長になったとたんこのようなビックイベントを仰せつかり、どうしたものかと頭を抱えていましたが、優秀な役員スタッフがてきぱきと予定と準備をこなしてくれ、無事会を開くことができました。また、会への出席数については、症例検討会・講演会には89人が、祝賀会には56人の出席を頂き、自称・宴(うたげ)系の藤田さんの軽妙な20年を振り返っての懐かしい写真や、新フジヤマ(藤田+山本)のコンビによる演奏により大いに盛り上がることができました。計画当初は、前回の10周年が30人程度だったので、今回も同程度と予想しておりました。数を揃えるため役員は強制参加で、各施設の代表者を強引に参加していただき、それでも足りない場合は2次募集、3次募集そして強制募集(?)まで計画しておりました。ところが、心配をよそに1次募集から40人を軽く超え、その後もメーカーさんや、申し込みが遅れた人などや、更に当日まで申し込みがあり、大勢の方に参加していただきました。これも会員の皆様の腑甲斐無い会長である私への温かいご支援と大変感謝いたしております。ありがとうございました。

今後は、皆さんに頂いたご恩を胸に、少しでもこの岡山細胞検査士会が発展することに全力を注ぎたいと考えております。

ところで、編集委員長からのお題、「こんなこと、楽しんでいます」を入れておかないと、厳しい査読で引っかかってしまいますので、ほんの少しだけ触れておきます。

楽しんでいる趣味はいくつかあるのですが、最近といっても昨年堪能したのは貝拾いでしょうか。沖縄の離島でサンゴや星砂とともにたくさんの貝殻を拾ってきました。貝殻と思って拾ってきた巻き貝の中にはヤドカリ入りも混じっていて、しばらく飼っていたのですが、さすがに夜中に 10 匹ぐらいがガサガサとうるさくするので近くの池に逃がしてやりました。真水の池に逃がしてもらって喜んだかどうかはわかりませんが、他に持ち帰ったイモガイの中に 1 匹だけ本物の中身入りがいて、これは水槽（海水）で飼っています。普段じっとして全く動かないのですが、気が付くと移動しているので、1 年近く経っていますが今でも生きています。そんな先日、水槽の壁の上の方にくっついていましたので生きていることを確信しました。ところでこのイモガイ、毒を持っていて獲物を刺します。先住のカクレクマノミ（ニモです）はこの同居人（貝です）のことをどのように思っているか現在のところよく分かっていませんが、何となく迷惑そうな顔をしているようにも見えます。ちなみにこのクマノミは子供がクレーンゲームでゲットしてきたもので、もう 2 年半ぐらい飼っています。最初は 4 匹いたのですが 2 匹が亡くなり、1 匹は家出をしたまま未だ見つかっていませんが、ファインディング・ニモのようなハッピーエンドはちょっと期待できないかな。ついでに言うと、この静かな水槽の住民とは対照に、夜中に回し車で暴走する 8 匹のハムスターも飼っています。気が付くと自律的に増殖してしまっているんですねえ……。

それはそうと、毎日の他の楽しみとしては、ドラマを見ることでしょうか。実を言うと医療系のドラマはほとんど見ています。今は何といっても「フラジャイル」でしょう。法医を題材とするものはよくありますが、病理についてはわき役として「チーム・バチスタの栄光」などでも少しは出てきますが、大抵は病理医が標本作製から診断まで行って、臨床検査技師が出てくることはまずありません。これは世間からの認知度が低い検査技師が登場すると話がややこしくなるのを嫌ってのことでしょうが、とても残念です。このドラマでは病理検査技師が実以上によく描かれていて、検査室の壁には細胞学会の大会ポスターまで貼られているなど念の入れようです（細胞学会からもお知らせあり）。このドラマのおかげで、世間への病理検査の認知度が上がったことはもちろんです。今までその存在さえ知られていなかった病理検査室が、他科の学生、派遣会社に親戚のおばちゃんに至るまで、広く浸透していたのには驚くばかりです。

我々の仕事が世間に認知され、社会的地位が少しでも向上したことは大変喜ばしいことですが、同時に元々責任の大きな仕事が、さらに

大きくなったと考えられます。その期待に負けないよう、私を含め皆さんも病理・細胞診の更なる向上を目指して日々精進していただきますよう心からお願いいたします。

### 副会長/原田美香「苦手なものも好きに変わる」

「こんなこと、楽しんでます」についてですが、大した趣味といえるものがない私であり、毎日家庭と仕事の両立に忙しく過ごしている日々です。

子供達と過ごす時間はとても幸せですが、仕事に関して今携わっている内容は好きなことであり、楽しいことだといえるかもしれません。

細胞診の中でも子宮体部と甲状腺には興味があります。特に、内膜細胞診の標本を見返しいろいろとデータをまとめることは大変ですが、発表できる内容にまとまった時、とても楽しく感じられ、達成感は最高です。私は、もともと内膜細胞診は苦手でした。以前倉中におられた則松先生から教わっていましたが、なかなか一人前になれず怒られることも多々ありました(涙)。内膜細胞診の見方を全国に伝える行脚のように動かれていた則松先生が近くにいるというとても有り難い環境でしたが、不安な状況のまま則松先生は教授になり、倉中を後にされました。その後、私が倉中の内膜細胞診の偽陰性症例をまとめて学会発表を行うという機会がありました。その時に、かなりの症例の内膜標本を鏡検したのがきっかけで、内膜細胞診に対する不安感がかなり減っていきました。2011年頃から倉中でも内膜細胞診の直接塗抹と液状標本の併用を始め、則松先生から液状標本の見方を教わり、液状標本主体に内膜細胞診を捉えるように変化してきました。この間にも内膜細胞診は興味のある存在であり、学会発表の題材でした。時には学会発表のため、内膜標本を鏡検しデータをとっていると、病理の先生からなぜそんなに「正」の字ばかり書いているのかと聞かれることもありましたが・・・(笑)。直接塗抹の出現細胞集塊数をカウントするのは、すべて「正」の字を書いてカウントしていたのが元であり、実際に直接塗抹標本と液状標本の集塊数を比較する場合にも「正」の字を用いました(カウントは辛かったです)。これまでに直接塗抹標本と液状標本の比較や、液状標本はOSG式判定を用いているので、少しですがATECについてまとめてきました。今後もATECなど更にデータを集めていき、私のまだまだ勉強不足な点を補いつつ、内膜細胞診の見方の教育についても進めていきたいと思っています。

最後に、細胞診については多くの症例を鏡検し、経験してください。苦手なものが好きなものになるかもしれません。

### 副会長/山本弘基「危険と隣り合わせのウクレレ練習」

最近、幸か不幸か公の場でウクレレを弾く機会を作っていただいた

ので、動画サイトで「初心者向けのウクレレ動画」を観てモチベーションを上げるという行為に励んでおります。アパート暮らしの自分には、自宅で楽器の練習をすることは難しく、奥様の冷たい視線を無視して子育てを放置し自分の好きなことをするのも、なかなかハードルが高いので自分の自由時間(?)といえれば検査当直の時か車を運転しているときくらいしかありません。そんな危険と隣り合わせの時間の隙間を有効利用(?)してます。上手な人の演奏を聴いていると自分でも簡単にできそう、な錯覚に陥ります。間違いなく錯覚です。簡単に弾いてるようにみえるんですね。とりあえず基本的なコードは覚えることができたのでレパートリーも増えつつあります。

ウクレレ以外にも、テニスと野球のバッティングも動画サイトでイメージトレーニングをしています。実際に体を動かすことはほとんどなくなっていますが、自信(だけ)は維持できています。でも、イメージを固める行為って結構大事です。先に教科書を読んだり人の話を聞いてから原理を理解しようとするより、体の動きのイメージができてから原理を考えるほうが理解しやすいし定着もしやすいと考えてます。

視覚で得た情報から病変をイメージして結論を導く……。なんとなく近いようですが、細胞診に関してはイメージトレーニングができる気がしません。それができる人はセンスがある人か、豊富な経験がある人か、努力して豊富な知識を獲得した人か、もしくはその全てをもつ人かもしれません。

私にはまだどれも足りないのでコツコツやらせてください。そんな副会長の山本です、よろしくお願いします。

### 幹事/舟田和幸「こんなこと楽しんでいます」

何を楽しんでいるということは特になのですが、目標として食べられるうち好きなものを食べたり飲んだり。(病気になっても)

観られるうちに観たいものを見る。(絶景とか)

動けるうちに行きたいところに行く。(特に旅行はいいですよ  
(仕事はもういいかな～。))

あとでやろうと思っていて先延ばしにしても、いざしようと思ったときに、出来なくなっていると後悔しか残らない。

「自分の気持ちに素直に、時期を逃さず、人様に迷惑をかけずに。」

### 幹事/野口裕太郎「目指せ優勝、ソフトと野球！」

岡山済生会総合病院の野口裕太郎です。

岡山細胞検査士会の役員・実務委員として少しでも力になればと微力ながらお手伝いさせてもらってます。

最近の出来事として、仕事関係では昨年から今年にかけて職場の移転があり通常業務以外のことで多忙な日々を過ごすことが多かったで

す。現在は新病院での業務が落ち着いてきており従来の感覚に戻りつつありますが本当に軌道に乗るにはもう少しかかりそうです。

仕事以外では、就職してからある先生のお誘いでマラソンを始めたのですが、今までハーフマラソンにずっと挑戦していました。今年はフルマラソンに挑戦することを抱負として掲げていました。つい先日行われた吉備路マラソンで無事に完走することが出来ました。

また、楽しんでいることとして職場のソフトボールチームと地元の野球チームに所属して活動しています。今年こそはどちらも優勝できるように頑張ろうと思います。

細胞検査士としてまだまだこれから技術や知識を身につけるのはもちろんのこと、私生活も充実させていきたいと思っています。残り短い20代を思いっきり楽しんでいきたいです。

### 幹事/山口大介 「これから茶道を楽しむ予定です」

今年度から役員を務めさせて頂いています、岡山医療センターの山口大介です。

細胞検査士一次試験対策として新人講習会に携わらせて頂き、他施設のみなさんと交流することができて非常に有意義な一年でした。

私が今楽しんでいるのは「茶道」です。去年、唐突に習い始めることになったのですが…（きっかけを話すと長くなるので省略させて頂きます）

稽古はあまりできておらず、帛紗もちゃんとさばけるか怪しいです。お茶会では裏方でお手伝いする程度ですが、いつか自分も着物をきてお点前ができればいいなどのんびり思っています。今年は時間をみつけてちゃんと稽古します。なので正確には「楽しんでいる」ではなく、「これから楽しむ」予定です。（楽しむレベルに到達するのに道のりは長いですが…）

人として検査技師としてまだまだ未熟者ですが、誠心誠意頑張りますので今後ともよろしくお願いします。

### 幹事/菅野豊子 「家族と一緒にゴルフ練習」

はじめまして。

岡山細胞検査士会で役員をさせて頂いている、川崎医科大学附属病院 病院病理部 菅野豊子です。検査士会では49の日の活動を楽しみながらやらせていただいています。今後もっともっと楽しめて親しめる活動にしていこうと思っているので、ぜひ皆様のご協力の程よろしく願いいたします！

話は変わりますが最近の楽しみとして、ゴルフの打ちっぱなしに行っています。家族でゴルフに行く約束をしていて、今は打ちっぱなしで目下練習中です！コースデビューはまだまだ先そうですが・・・家族

の共通の趣味として楽しんでいます。

至らないところも多々ありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 幹事/安原聖子「のんびり頑張るマタニティーライフ」

倉敷成人病センター病理診断科所属の安原です。今年からはれて役員となり、日々頑張っております。

私事ではありますが、今お腹に子がおりまして、マタニティーライフを楽しんでいるところです。楽しいと言い切れるか微妙なところではありますが、皆々様が乗り越えられてきた道だと思っておりますので、のんびり頑張ります。

と、いうわけでがつつり役員の仕事をやるぞ！とはいかなくなりそうですが、去年から引き継いだホームページの更新くらいは続けたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 幹事/畠 榮「『本当』に近づくこと」

昨年の岡山大学大学院保険学研究科 細胞診教育セミナーで「泌尿器細胞の新報告様式と求められる診断精度」と題して金城 満先生が講演されたことは、記憶にあると思います。金城先生は絵画の鑑賞が好きで、倉敷の大原美術館に行かれることを希望されていました。講演後大原美術館までお送りすることとなり、車で一緒しました。その時、車内でのことですが、講演時にお聞きすることが出来なかったことを、ご説明願いながら美術館までお連れしました。

その後、金城先生から下記のメールを頂きました。

\*\*\*\*\*

畠 榮さま

おはようございます。昨日はこちらこそ大変お世話になりました。大原美術館は予想以上に私の好みに合った美術館でした。小規模ですが、学芸員も親切で、展示の仕方も、採光の仕方などこれこそ私の探していた美術館だと思い、昨日は時間に追われていましたが、幸せな時間を過ごすことができました。

畠さんの、飽くなき探究心とバイタリティーはサミエル・ウルマンの青春を彷彿させるものがあります。畠さんが元気な間は、私も続けられそうな気がしてきました。こちらこそ本当にありがとうございました。畠さんから頂いたエネルギーを、活力に替えて、仕事を続けたいと思います。今後ともよろしく願い致します。

\*\*\*\*\*

私は生物学的なことは興味がありますが、文学・音楽・芸術などは無知で何も知りませんでした。金城先生のメールあった「サミエル・ウルマン」の詩の「青春」を彷彿させるようだとのことに関して、私は理解



できませんでした。そこで、ネットで「サミエル・ウルマン氏」のことを検索しました。

URL<http://home.h03.itscom.net/abe0005/ikoi/seishunn/seishunn.htm>によると、

『二次大戦終戦後、1945年9月27日に昭和天皇が、日比谷の占領軍総司令部にマッカーサー元帥を訪問し、天皇が始めて民間人と並んでツーショット写真を取られた部屋の壁に掛けられていた詩が、この青春の詩（英文）であった。マッカーサー元帥は、友人の John w. Lewis 氏（コーネル大学教授）よりこの詩を贈られ、座右の銘として何時も執務室に飾っていた。しかし作詩者のサミエル・ウルマン氏は、当時は全く無名で、アラバマ州の人だと言うこと以外は全く知られていなかった。

この詩を、ある日本人（岡田義夫氏説が有力：明24年埼玉県生れ元「東京毛織OB」）が見つかり、感動し、漢詩調に翻訳した。これが後に松下幸之助氏の眼に止まり、あるインタビューでこの詩の事を紹介し、雑誌に掲載され一躍有名になった。

又、ロバート・ケネディーがエドワード・ケネディーへの弔辞にこのウルマンの詩の一節を引用したのも有名な話である。その後、色々な人が、サミエル・ウルマン氏について調べ、近年になり、アラバマ州のバーニングハム市に、ウルマンが晩年に過ごした家が見つかり、彼の作成した他の詩も発見された。JASA（日本協会）が、1993年に日米親善事業の一環として、その家を買取り「ウルマン記念館」として運営している。』とのこと。

原文と訳文を掲載します。

## YOUTH

Youth is not a time of life-it is a state of mind; it is a temper of the will, a quality of imagination, a vigor of the emotions, a predominance of courage over timidity, of the appetite for adventure over love ease.

No body grows only by merely living a number of years; peoples grow old only by deserting their ideals. Years wrinkle the skin, but to give up enthusiasm wrinkles the soul. Worry, doubt, self-distrust, fear and despair-these are the long, long years that bow the head and turn the growing spirit back to dust.

Whether seventy or sixteen, there is in every being's heart the love of wonder, the sweet amazement at the stars and the starlike things and thoughts, the undoubted challenge of events, the unfailling childlike appetite for what next, and the joy and the game of life.

you are young as your faith, as old as doubt ;  
as young as your self-confidence, as old as your fear;  
as young as your hope, as old as your despair.

So long as your heart receives messages of beauty, cheer, courage,  
grandeur and power from the earth, from man and from the Infinite  
so long as you are young.

When the wires are all down and all the central place of your heart  
is covered with the snows of pessimism and the ice of cynicism, then  
you are grown old indeed and may God have mercy on your soul.

Given to Mc Carthur some years ago by John  
W. Lewist is based on a poem written by the late  
Samuel Ullmann of Birmingham, Ala.

### 青 春

青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や、狐疑、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く「驚異への愛慕心」空にひらめく星塵、その輝きにも似たる事物や思想の対する歓迎、事に處する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる  
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる  
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる

大地より、神より、人より、美と喜悦、勇氣と壮大、偉力と靈感を受ける限り人の若さは失われない。これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとどすに至ればこの時にこそ人は全くに老いて神の憐れみを乞う他はなくなる。

私は微力ではありますが病理学に愛着を持ち、さらには謙虚な気持ちで細胞を見つめ、その特徴から診断への根拠を導き出し、多くの所見の中から「本当に」意味するもの、つまり診断的鍵となる真実の細胞所見を見つけることを目標にし、日ごろの業務に取り組んでいます。安田理深の言葉で「本当のものがわからないと、本当でないものを本当にする」という言葉があります。細胞診も同じことで「真実の形態を把握せずして、本当の診断に到達すること」は困難であると考えています。個々の細胞を眺めその形態がなす特徴を把握し「本当のものが、本当である」所見を私なりの考えで見つけ、少しでも本当に近づ

けることができれば幸いであると思っています。

私は

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる

人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる

希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる

の言葉を私の進むべき方向と考え、多くの仲間に支えられ、進むことが出来ればと思います。

### 監事/佐藤妃映「心があたたかくなる交流の時」

岡山大学の佐藤妃映と申します。年々岡山大学の卒業生が増えてきて、講演会等で卒業生たちの生き生きとした表情や頼もしい姿をみることもとても嬉しく、大きな楽しみになっています。保健学科の先生方も、皆さんの活躍をととても喜ばれています。そして、何よりも、岡山大学の卒業生たちが皆様に立派に育てていただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、今回のテーマは、「こんなこと、楽しんでます」。最近親しくさせていただいている方とのことを、お話ししたいと思います。

その方とは同じマンションに住んでおり、お会いしたときにご挨拶する程度でしたが、その方が私にお手紙を下されたことがきっかけとなり、やりとりが始まりました。とても上品で優雅な雰囲気の高齢の女性で、お話ししていると、心がほっとあたたかくなります。

時々、お手紙とともに手作りの手芸品やジャム、ベランダで育てているお花やハーブをドアにかけておいて下さいます。疲れて帰ってきたときにドアに贈り物を見つけると、とても嬉しく、やさしいお気持ちに疲れも和らぎます。この女性との交流をととても楽しんでますし、毎日に彩りを与えて下さるだけでなく、さりげない細やかな気遣いや相手を思いやること、季節の移ろいを楽しむこと等、大切なことを教えていただいています。ひととの偶然の出会いの不思議を感じ、感謝しています。

もちろん、岡山細胞検査士会の皆様との出会いにも、とても感謝しております。至らない点も多くありますが、これからもどうぞよろしく願いいたします。

### 監事/藤田 勝「楽しい締め切り」

最近楽しんでいること。あらためて考えてみると、さて、何だろう。今、この会報を作っている、これも楽しんでいることのひとつ。似たような作業として、全国版の細胞検査士会会報製作も楽しんでいることかもしれない。そこに原稿を書く、これまたけっこう楽しい。いずれにも共通していえるのは、その作業に締め切りがあること、そしてしばしばそれに迫りかけられている身であることだ。客観的に見て、どう

やら私には締め切りを楽しんでいるフシがある。

もちろん、締め切りはストレスである。「楽しんでいる」とはいいながら常にストレスに曝されている生活が、正直、ずいぶん体に悪いことなのではないかとも思っていたのだが、最近の知見によれば「適度なストレスは体に良い」との見解もあるらしい。となれば、締め切りに追われるのもまんざら悪くはないってことだろう。viva！締め切り、締め切り my love!!

そんなわけで、これからは大手を振って「締め切り大好きー！」と叫びながら生きていこうと思う（うそです）。

## 実務委員/山崎友奨「腎生検の奥深さにはまる」

岡山協立病院の山崎です。岡山細胞検査士会の実務委員として、微力ながらお手伝いをさせていただいております。岡山協立病院に移ってから早1年が経とうとしていますが、「こんなこと、楽しんでます」といえば、今はなんといっても腎生検でしょうか。薄切もさることながら、特染の奥深さには今までにないほど興味をそそられます。

1 $\mu$ mでの薄切は、各施設様々な方法をとられていると思います。息を止めて0.5 $\mu$ m設定で切るor一息の自然膨張で切るの2種類が主流でしょうか？山崎はどうやら鼻息が荒いようで（笑）後者に不向きだったため、マスクをした状態で酸欠になりながら薄切をしています。果たして意味があるのかどうかは不明ですが、マイクロトームのブレードホルダーに保冷剤を置いてみたりしてます。つい先日、滋賀県にて講習会を受講し懇親会にも参加してきましたが、大阪某病院のベテラン様から、ドラマ「フラジャイル」で一瞬映り込んだブロック加湿装置でなくても、マイクロトーム近辺に加湿器を設置するだけで全然切れ味が違うとの話を聞いて、試してみようかなあと思っている今日この頃です。

病理医曰く「腎生検は銀染色が命」なんだそうです。糸球体を鍍銀する、たったこれだけのことですがこれがまた非常に難しい。銀染色は銀液の作成がすべてだとも言われます。山崎は50mLのメスシリンダーで3%メセナミン溶液を作成し、ホールピペットにて5%硝酸銀溶液2.5mLを銀沈殿が溶けきるのを待ちながら1滴ずつ加えた後、またホールピペットにて5%ホウ砂溶液3.0mLを1滴ずつ加えていきます。この間20分以上、腕がパンパンです。すべてを加え終わったら静かに転倒混和し、インキュベーターを60°C設定で稼働させます。酸化クロム溶液の行程になったら、銀液を丸ドーズに移して蓋をした後、インキュベーターにて60°Cに加温しておきます。銀液で染める時間は切片の厚さにもよるとは思いますがおよそ35~40分、30分たった時点で検鏡その後5分毎に確認して決めるという感じです。個人的には銀液で何分染めるかよりも、塩化金で何分落とすのかがこの染色の要なのではないかと考えています。主任は30分以上置くと書いておりました。山

崎は30分以上置いて色がすべて抜け落ちて以来、怖くて主任のやり方ではできなくなってしまいました（笑）。今では5分程度までに落ち着いています。先日病理医から「これなら外部に見せても恥ずかしくない」と及第点をいただいたので、これでいいのかなあと漠然と考えているのですが、主任と山崎との染め方の違いはどこから生まれているのか…今でも解明されていません。他施設ではどうなのでしょう…だれか山崎に救いの手を。

駄文失礼いたしました。まだまだ未熟者ですが、今後もよろしくお願ひします。

### 実務委員/和田裕貴「あんなふうに、楽しみたい」

はじめまして、倉敷中央病院 和田 裕貴です。2015年は実務委員をさせていただきました。右も左もわからず特に役に立てたわけではないですが…（笑）

さて今回のテーマ「こんなこと、楽しんでます」。

一年程前にロードバイクを買ったので、楽しんでいることはサイクリング！！と書きたいところですが、最近は寒くてめっきり乗っていません（涙）。そのくせ形からはいつてしまっていて道具ばかりがどんどん増える。もう楽しくて自転車乗っているのか、高い買い物したから乗っているのか自分でもわからなくなってきた今日このごろです。

そんな私の友人のお話。パンを作るのが趣味？みたいでよくパン作りの話を聞かせてくれます。休日は三回パンを作っているそうで、あのパンはおいしくて皆に喜んでもらえたとか、あれはもっとああした方がよかったとか、本当に楽しそうに話してくれます。最近はバターや具材にもこだわっているみたいで、こんなに趣味を楽しめる彼に密かに憧れています。

今年は友人の1/10くらいは趣味としてサイクリングを楽しみたいなあ。

### 実務委員/濱田香菜「家でぼけ～とインドア派」

はじめまして。実務委員をさせていただいております、岡山大学病院の濱田香菜と申します。

純然たるインドア派で、家でぼけ～としていることが一番の楽しみ（？）なのですが、あえて楽しみをあげるとすれば、「携帯ゲーム」と「パン作り」でしょうか。手持無沙汰になるとついついスマホをいじってしまいます。こっちのゲームに飽きたらあっちのゲームとゲームのはしごであつという間に無駄に時間がたってしまいます。ちょっとした中毒ですね。パンはインターネットで動画を見たり、本を読んだりしながら、“てごね”にこだわって我流で焼いています。これは味の善し悪し云々ではなく、ただただ“こね”の作業が一番好きだからなの

ですが、大工仕事のような騒音を響かせながら、こねこね、パンパン！！パン生地感触や見た目が変化していくのが理科の実験や粘土遊びのような感覚で、面白いです。なので、しつこくこねすぎて味や出来栄は今のところイマイチですが・・・。

少しでも検査士会に貢献できるように一生懸命頑張りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

### 実務委員/齋藤利江子「職場のみんなで楽しんでます」

実務委員をさせていただいて、早7年ほど経ってしまいました(汗)岡山赤十字病院の齋藤です。

今回のテーマは「こんなこと、楽しんでます」。今、うちの病理でプチブームなのが「チアシード」です。みなさん、ご存知ですか？

チアシードとは、メキシコなど中南米原産のシソ科サルビア属ミントの一種「チア」の種で、ゴマに似ています。αリノレン酸や必須アミノ酸、食物繊維などが豊富で栄養価が高く、生活習慣病・老化予防や疲労回復、学習能力・記憶力の向上、うつ予防、ダイエット、美肌効果など多くの効果があるといわれているスーパーフードで、それを飲み物に入れて休憩中や仕事の後に飲んでいます。水に浸すとゼリー状になり10倍程度に膨らんで、例えるなら、カエルの卵。(例えが悪いですが、まさに！！なんです。)見た目はなかなかエグイですけど、プルプル・プチプチ食感が良く、私は好きです。ただ、熱しやすく冷めやすい性格なので(笑)いつまで続くかは分かりませんが、美容やダイエットネタ、流行ものには目がなく、昔から常に追い求めています。

というように、病理の業務や細胞診の知識などの情報はもとより、こちらの方も良い情報がありましたらぜひ教えてください！！

### 実務委員/高田由貴「紅茶でまったり」

実務委員として参加させていただくこととなりました、倉敷成人病センターの高田です。まだまだ半人前の私ですが、少しでもお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

お題の「こんなこと、楽しんでます」・・・私は最近、紅茶にはまっています!!(お題とちょっとずれてしまいすみません…。)

専門的な知識はないのですが、いろいろな種類の紅茶を買ってきて、気分にあわせて飲みながらまったりしています。

おすすめの紅茶があったらぜひぜひ教えてください☆

# 他 個

# リレー

# 紹 介

## 岡山赤十字病院

増田雅史

林 栄子

小倉里奈

林 敦志

斎藤利江子



前列中央は、病理医の田村麻衣子先生



### 林 敦志さん

### ATSUSHI HAYASHI

病理部門のプロフェッショナルこと林敦志さんを紹介致します。

岡山赤十字病院で20年以上の経験を積まれており、長年引っ張ってこられた方です。

病理業務、検査関連については経験豊富で、システム関係にも詳しく困ったときはいつも助けてもらっています。その他、論文、海外での発表も多数こなされていて、どこからそのパワーが生まれてくるんだろうとつくづく思います。

自分に真似できないと思うのが、年齢性別問わず、隔てない対応をされる所です。雑談や質問の時には、聞き手スキルがいいのか、いつまでも止まらないトークが続きそうな感じで、検査室にはよく笑い声が響きます。時には、筋が通らないことに関しては納得、妥協するまで議論を交わす、そんな熱い一面も持ち合わせています。そんな林さんは、技師からだけでなく他部署からの信頼が厚いです。

仕事場以外でいうと、音楽、料理、スポーツ何でもOKで、文武両道です。特に、情報関係の資格を持っていることもあり、デジタル関係ならお任せです。

なお、お子さんが所属しているフットベースボールチームの監督を務めています。若かった頃の勢いで張り切りすぎて後悔したということもあるようですが、まだまだそのパワフルさは健在です。

まだまだ未熟な自分ではありますが、今後ともよろしくお願い致します。

by 増田雅史

#### 【ご本人のコメント】

増田君ありがとう、でも経験年数はありますが、まったくもってプロではありませんよ。病理は学生時代から苦手で、まあ配属されることはないだろうと思っていました。

日赤に就職したときも、最初は生理でそのあとに病理に配属になり当時の生理の課長が「すぐ生理に戻してあげるから！」と言われ、すでに20数年… その課長はもう退職されいつの間にやら病理の一番の古株となってしまいました。

文武両道といえば聞こえはいいですが、結局いろんなことを広く浅く中途半端に手を出しているということです。これはというものはありませんが楽しくやっています。

これからの日赤病理はチームワークをモットーに頑張っていきたいと思っていますので皆様よろしくお願いたします！！

●他部署からの信頼も厚い病理部門のプロフェッショナル



## 林 栄子さん

## EIKO HAYASHI

岡山赤十字病院の林 栄子さんを紹介させていただきます。

林さんは現在 40 歳の日赤病院 No2(年齢の)のベテラン技師さんです。2 人の子供さんを育てながら発表や論文をこなし、新しい資格や目標に向かって頑張っています。川崎医療短大を卒業され当院入社後、生化学、血液、生理などを経験しオールマイティーに何でも出来るスーパー技師です。

猫が大好きでいつも病理の雰囲気や和ませてくれる癒し系の存在で、日々楽しく業務をこなすことが出来ています。趣味は昼寝？で家でも職場でも堪能されているようです。

スタッフの S さんに毎日いじられてもまんざらでもない感じですが、いつも頼りにしているようです。忘年会では歌って踊るという想像もつかないことをやってのけ数々の伝説をつくっている強者で見た目とは異なる一面も見せていて、みんなから一目置かれている存在です。私が適当なのでいつもすべてお任せしていますのでこれからもよろしくお願ひいたします。

by 林 敦志

### 【ご本人のコメント】

オールマイティなスーパー技師…そんなこと思ったことないでしょう(笑) あっという間に年だけとってしまい、まだまだ勉強が足りてません。林さんは全然適当じゃなく、いつもあれこれアイデアを出したり、いろんな視点から物事を考えているので、仕事に抜かりがない感じで、尊敬できる上司ですね。ついていきますのでよろしくお願ひします。

猫は大好きで、一年ほど前から飼っています。2015 年は飼育頭数で猫が犬を上回り、ついに猫派の時代がきてうれしいです。猫に癒されながらこれからもがんばります。

●みんなから一目置かれる、伝説の強者



## 小倉里奈さん

## RINA OGURA

小倉さんは、今年 4 月に倉敷芸科大学から入社されたばかりのまだまだピチピチの新人さんです。細胞診コース出身だけあって、病理の仕事の理解も早く、きちんとした仕事をしてくれています。性格も明るくて、誰とでも仲良くおしゃべりしながら楽しそうに仕事されています(^\_^)/。4 月から細胞診の仕事を独り立ちするべく、ファーストスクリーニングをしてもらってから私たち先輩技師がチェックしていますが、私よりはるかに良く所見が書かれていて、安心して仕事を任せられそうです。また、当直業務のことも覚えなくてはいけないのでそちらのほうも勉強中で、遅くまで残って当直の練習をするなど、本当によく頑張っておられます。電車とバスを乗り継いで通勤でかなり疲れていて、家でもバスでも爆睡らしく、天満屋付近のことを話してもいまいち話がかみ合わなかったり、食事中寝てしまったエピソードなど、毎日笑かしてくれます。そんな忙しい毎日の中でも毎朝髪をきれいにセットし、手作りチョコを差し入れてくれるなど、女子力が相当高いです。私が男だったら惚れてるかもな…。ホントにいい人が入ってくれて良かった、結婚しても出産しても頑張ってお働いてほしいなあとと思っています。応援してるよ～！あと、色んな資格を持たれていたり(詳しくは忘れましたが…)、アコースティックギターが弾けるなど多才です(ちなみに“ふじやま”には

●ピチピチの新人は女子力高し！



興味があるそうです)。こんな楽しい小倉さんに勉強会などであつたらぜひ声をかけてあげてくださいね！

by 林 栄子

#### 【ご本人のコメント】

とても愛のある紹介をありがとうございます。  
すごく嬉しいです(\*^^\*)  
栄子さんとはテレビの趣味が似ていたり、パスタが好きだったりと似ているところが結構あって、お話していて毎回楽しくて仕方ないです！  
いつも笑顔が絶えません♪  
就職してもう一年が経ちます。  
一つクリアしたらまたすぐに次の課題が... というように、倒れそうになりながら今は追われる日々を過ごしていますが、いつも先輩方に支えられ、頑張ることができています！病理のことはもちろん、日当直関係のことでもたくさんのフォローをいただいています。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。  
まだまだいろいろなことが未熟ではありますが、これからも暖かい先輩方に囲まれて、仕事に女子力に奮闘していきたいと思います！笑  
頑張ります！！



#### 斎藤利江子さん

#### RIEKO SAITO

私のつたない文章では素敵な斎藤さんを紹介しきれないかわかりませんが精一杯紹介させていただきたいと思います！

斎藤さんに初めて会った時の印象は、姉御！！という感じでとてもしっかりされた方だと思いました。出会ってもう少しで1年経ちますが、いつも元気で明るくてアクティブで、周りの皆を明るくして下さる、ムードメーカー的存在で、大好きな先輩です。

趣味はゴルフや旅行、(お酒)など多趣味で、最近も旅行でニューヨークに行き帰ってきた帰国女子でもあります(笑)

お酒に関しては... 数々の伝説をお持ちの様でまだまだ私には未知の世界があるようです。また、ゴルフは熱心にされているらしく、したことのない私はいつも興味津々で楽しいお話を聞かせていただいています。

仕事に関してはとても誠実で前向きで私の目標としている先輩です。勉強会にも積極的に参加され、実務委員もされていて、見習うべきところばかりです。社会人1年目の私のよく分からない話もいつも真剣に聞いてくださって、姉妹のいない私にとってはお姉さんの存在でとても頼りにさせていただいています。

まだまだ語り尽くせてはいませんが、公私ともに斎藤さんのような素敵でパワフルな先輩になれるように私も日々努力していきたいと思えます。

by 小倉里奈

#### 【ご本人のコメント】

小倉さん、ありがと。  
お母さんじゃなくて、お姉さんでよかった(笑)  
一緒に仕事して1年、小倉さんは物事を基礎から着実に進めていくとってもまじめな頑張り屋さんで、すごいなあと感心しています。見習わないと！！

●アクティブな姉御は、職場のムードメーカー

私は勢いだけが取り柄で、力（知識）不足でなかなか導いてあげることができないかも知れど、一緒に考えたり、行ったり、試行錯誤しながらお互い高めあっていこうね。  
笑顔で楽しく仕事しましょ♪



## 増田雅史さん

## MASASHI MASUDA

増田くんは、岡山赤十字病院の検査技師のなかで唯一の20代の男性技師です。岡大出身で就職して4年、まだまだフレッシュな男子で、増田くんって思い出すのは、歓迎会の時、「好きな分野は？」という質問に間髪いれず『病理ですッ!』と即答し、病理のみんなの目がキラリと光ったのを覚えています。当時の病理部長O原Dr.の求愛もあり3年前から病理に配属になって、今まさに、細胞検査士の資格取得に向けて日々邁進中です!!

性格は、こつこつがんばる努力家で、よく本を読んでも姿を見かけるし、仕事の後以外でも休憩中や合間を見つけて検鏡し、勉強しており、ホントに病理が好きなんだなあと感じています。（その間私はほぼほぼダベッています...）

また、静かだけどどこか温かい、素朴な雰囲気を持っています。仕事はむらなく淡々とこなし、しゃべりかけるとほっこりな返事が返ってきて、はにかんだような笑顔が出ます。業務が多い人がいたら何も言わずそっと手伝ってくれたり、雑用等も文句も言わずさらっとしてくれています。自我や個性が若干強めの面々が揃う（笑）うちの病理にはこのカンジは必要だなあと感じていて、ハンバーグに例えるならナツメグのような存在でしょうか。（意味分かりますかあ？上手いと思ってるのは私だけかも）

仕事中はこんなイメージの彼ですが、実は体育会系（バド部）で、体育館では機敏な動きや激しいスマッシュが飛んできて、びっくりしました。ほかにもみんなで雪山に行ったり、うらじゃに出たりと結構アクティブな一面も持っていて、日赤の救護班に所属し、救護の現場にも足を運ぶ頼もしさもあります。

最後に、先輩より一言  
仕事でもっと自分らしく伸び伸びやってね☆ で、みんなで一緒にいろいろ勉強して病理を盛り上げていこうね!!

by 斎藤利江子

●ハンバーグに例えるならナツメグ、こつこつがんばるほっこり系

### 【ご本人のコメント】

こんなに書いていただいて本当にありがとうございます。  
日々、細胞診、業務に限らず、いろいろ教えてもらう皆さんに感謝しています。  
資格に向けての勉強で、よく周りが見えなくなっていることもあり迷惑かけることもあります。もっと柔軟性をもって業務に励みたいと思います。そして、病理の一員として盛り上げていきたいと思いますので、これからもご指導よろしくお願ひ致します。

## 第1回 私のイチ推し、この2軒！



みなさんこんにちは！ 岡山協立病院の山崎です。山崎友奨のGTO…なんじゃそりゃ？と思われている方が大半だとは思いますが、ドライブ好きの山崎が岡山の様々な場所を巡り、みなさんにご紹介していこうというコーナーです。藤田さんから「ジャンルは問わない」と言われておりますので、山崎の独断と偏見で面白いと思ったものをご紹介しますらいいなあと思っております。(笑)

さて、初回ということで山崎の愛車であるSUBARU IMPREZA WRX STIを少しご紹介します(写真1)。2001年式、通称「丸目」と呼ばれていた時のインプレッサですね。2000cc、280psの水平対向4気筒DOHCターボエンジンを搭載、分かりやすく言えばハイオクで8km/Lしか走らない反エコなスポーツカーです。ビルシュタイン製のサスペンションに、ブレンボ製のブレーキ、街中を走るには完全にオーバースペックとなっております。峠やサーキットで走っていた頃には相当お世話になりましたが、乗り始めてから早6年、今じゃすっかりファミリーカー…もちろん、ダサい、乗り心地が悪いと大不評ですよ。それでも乗りますが…。

愛車の話はこれくらいにして…。岡山の様々な場所を巡ると書きましたが、今回の執筆開始が諸事情で12月末といきなりネタが集めづらい状況が発生しております。仕方がないので、今回は山崎が地元「西大寺」でよく通うお店について書いていきたいと思っております。

1軒目「八方」(写真2)。山崎がもう20年以上も通っているラーメン屋です。数年前に先代が引退されて2代目の店主となり、味が安定しない時期がありました。今は先代の味を取り戻しております。いわゆる岡山ラーメンで、強い甘みとコクを持つ醤油ダレに豚骨スープを合わせた豚骨醤油ラーメンです(写真3)。スープは見た目とは裏腹に豚の臭みはなく、脂っけが控えめで軽い口当たり、しかしながら十分な旨みがあり、甘み辛みのバランスが非常に良い奥深い味わい。麺は中細ストレート、スープとの相性が抜群で、食感も喉越しも最高。トッピングはネギ、もやし、チャーシュー、メンマとスタンダードなものとなっております。チャーシューは豚バラを甘辛いたれで煮込んで厚めにスライスされており食べごたえバッチリ、山崎は味玉のトッピングもおすすめします。八方ではラーメン界のB級グルメ「かつそば」も食べられます(写真4)。ご存知の方もおられるとは思いますが、ラーメンの上にまさかのトンカツが載っている一品ですね。トンカツの衣に染みたスープの何とも言えない味わいが五臓六腑に染みわたります。トンカツとスープの油の共演、カロリーなんて気にしないぜって方は是非お試し頂きたい。このお店では、お母さんの作ってくれるお好み焼きも、隠れた名物となっております。山崎は子どもの時



写真1 愛車のSUBARU IMPREZA WRX STI

2001年式、通称「丸目」と呼ばれていた時のインプレッサ。2000cc、280psの水平対向4気筒DOHCターボエンジンを搭載。



写真2 八方

営業時間: 11:00~20:00  
定休日: 日曜日、第3月曜日  
営業時間: 11:00~21:00  
駐車場: 8台  
JR西大寺駅から徒歩5分  
TEL: 086-943-7816  
岡山県岡山市西大寺上2-7-45



写真3 豚骨醤油ラーメン

強い甘みとコクを持つ醤油ダレに豚骨スープを合わせた岡山ラーメン。



写真4 かつそば

ラーメン界のB級グルメ。ラーメンの上にまさかのトンカツが載っている一品で、トンカツの衣に染みたスープの何とも言えない味わいが五臓六腑に染みわたる。

からお母さんのお好み焼きを食べて育ってきました（笑）。たっぷりのキャベツを使った広島風で、少し辛めのたれに青のりがかかったシンプルなお好み焼きです、こちらもご賞味あれ（写真5）。いつ行っても地元の人間でいっぱいです、愛されていますねえ。近くに西大寺高校や学芸館高校があるせいか、学生さんの姿もよく見かけます。並んでもでも食べたいラーメンここにあり、山崎はこれからも通い続けます。

2軒目「志ほ味」（写真6）。こちらも山崎が20年以上通っているステーキ屋です。髭ダンディーな御主人とその奥さんのおふたりで営まれているこじんまりとしたアットホームな店内が、いかにも洋食屋さんだなあという雰囲気を醸し出します。お店の名前は、塩見という名字が由来なんだそうです。志保美エツコとはなんの関係もありません（笑）。ステーキの種類としてホルスタインが選べるのがこの特徴で、脂の少ない上質な赤身が味わえます。もちろん、ロースやヒレといったスタンダードなステーキや、ハンバーグ、海老フライなんかもありますよ。カウンターにある鉄板でお肉を焼いていきますが、驚くのが付け合わせの野菜の量。軽くステーキの倍はあろうかという程のもやし、さつまいも、かぼちゃ、ニンジン、ピーマンが蒸しあがります（写真7）。さらにすべてのステーキにはサラダが付いてくるという特典つき、途中からお肉を食べに来ているのか野菜を食べに来ているのか分からなくなることもしばしば、正直な話お腹がいっぱいで食べきれないことが多々あります。いざ食べ始めると、ミディアムレアでちょうど良い焼き加減のお肉が、口の中で程よい弾力を残しながら喉を通っていきます。赤身のもきゅもきゅとした噛みごたえ、喉越しには思わず顔がほころびます。ソースはデミグラスソースとポン酢の2種類から選べますが、こちらから何も伝えなければポン酢一択のようです。隠れメニューというわけではありませんが、「お塩ください」とマスターに告げるとカウンターから岩塩が出てきたりもします。「岩塩とか意識高い系なんじゃないの？」と今まで山崎は思っておりましたが、この前たまたまマスターに薦められて試してみたところ、岩塩で食べる赤身の美味さに言葉を失いました。ステーキだけではなく、野菜のポタージュもこの店の絶品です。（写真8）。野菜をとろとろになるまで煮込んだほんのり甘いポタージュは、ステーキの箸休めにもぴったり。まあ山崎はこのスープが美味すぎてステーキが来るまでに飲みきってしまうんですけどね（笑）。おかわりが欲しくなるのは山崎だけではないはず。ちなみに、誰が得をしているのか分かりませんが、1kgチャレンジという企画がこのお店にはあります。大食いだと自覚のある方はチャレンジしてみてください。ステーキなので仕方ありませんが、ディナーで行くとお値段はそこそこ、お財布にはあまり優しくないかもしれません。それでも食べたい味、というのがここでは堪能できると思います。

ここまで書いてきましたが、どこがGTOなんだ？と疑問を持たれる方が多々いそうですね（汗）。この企画は連載になるそうですので、次回は少し地元を離れてみようかなあと思ったり思わなかったり…。山崎も知らない岡山の魅力がまだまだたくさんあると思いますので、少しずつ発掘してはみなさんに紹介していければと思っております。「ここに行って欲しい」というリクエストも受け付けておりますので、なんなりとお申し付けください。それでは、また来年。



**写真5 お母さんのお好み焼き**  
たっぷりのキャベツを使った広島風で、少し辛めのたれに青のりがかかったシンプルなお好み焼き。



**写真6 志ほ味**  
営業時間：11:00～21:00  
定休日：月曜日  
駐車場：4台  
JR 西大寺駅より車で10分  
TEL: 086-942-7074  
岡山県岡山市西大寺中野 25-9



**写真7 志ほ味のステーキ**  
驚くべき量を誇る付け合わせの野菜。軽くステーキの倍はあろうかという程のもやし、さつまいも、かぼちゃ、ニンジン、ピーマンが鉄板上で蒸しあがる。



**写真8 野菜のポタージュ**  
野菜をとろとろになるまで煮込んだほんのり甘いポタージュは絶品。

K's Presents



喜びも悲しみも  
WINDOWS10 の巻

# コンピュータ ワンダーランド

2015-2016

何やら、この原稿の付近にも創立 20 周年のお祝いムードが漂う中、皆さんいかがお過ごしでしょう。

ところでの先日の創立 20 周年の祝賀会にこっそり出席しちゃいました。祝辞の中でも話題になっていましたが、この会が創立された 20 年前といえば 1995 年で、Windows95 が世に出てきた年です。その前は Windows3.1 でしたが、もちろん 3.0 や当然 1.0 などといったバージョンも存在しました。まあ、一般ユーザーの目には触れることはなかったようですが。気になって My コレクション (別名ゴミ) を掘り返してみると、MS-Windows1.03 は少なくとも発掘することができました。入手経路は覚えていませんが、記憶では当時の主力 OS である MS-DOS の上で動くアプリケーションという感じでした。この頃の OS はどれもシングルタスクとあって、同時に 1 つのソフトしか起動することができません。業務用の OS で、後に東芝に吸収される SORD 社では、この時代でもマルチタスク・マルチジョブを謳った OS を出しており、我々も病理システムに導入していました。1.0 の時代では、複数のソフトを使うときは、たとえばワープロの一太郎を使っていたら、それを完全に終了し、5 インチの FD を表計算のロータス 123 に取り換え、リセットボタンを押して再起動するような操作が必要でした。そこでこの MS-Windows ですが、マルチタスクで複数のソフトを同時に動かすことができる宣伝文句でしたが、実際にできたのはカレンダーと電卓ソフトを動かせる程度で、メモリが少ない (最大 640KB) この時代には、早すぎる技術といった感じでした。

おっと、話を戻して Windows95 ですが、Windows3.1 がずいぶん売れて一般化し、ハードディスクも当たり前、本体メモリもやっと数メガ使えるようになってきた後に、画面周りを含めすべてを一新したグラフィカルな Windows として世に出てきました。現在の Windows の原型が完成した感じを受けましたが、実際にはこの後、WindowsNT 系と合流して本当の意味での原型ができることになりません。

さて、いつもの止まらない昔話はこのくらいにして、前回避けて通った Windows10 に話題を進めましょう。

もうすでに使われている方もおられると思いますが、私の自宅ではメイン PC と新たに購入したタブレット・ノート PC と、以前から持っていたモバイルノート PC の 3 台にインストールしています。メインの PC は Windows7 から、ノート PC はそれぞれ Windows7 と 8.1 からのアップグレードです。常用しているソフトや、周辺機器が使えなくなると仕事にならないので、もう少し様子を見てからとも思っていたのですが、新しい OS への誘惑に我慢できず、ついつい「アップデートの予約をしますか？」に「はい」を押してしまいました。

OS のメジャーバージョンアップをする場合に一番気にしているのは、お気に入りのデータベースソフト「桐」が使えなくなることです。何度か話題にしましたが、年賀状の住所録に始まり、国家試験や二級試験、細胞診試験などの問題データや、症例のデータベース、お小遣い帳や買い物前の商品の比較表など何でもデータベース化しないと気が済まない性質なものでよく使っています。他のソフトでよく使うのは Word や Power Point、Excel ですが、Microsoft 製品ですから心配していません。それよりも、便利ツールやどこかで拾ってきたソフト、製品の添付ソフトなどが動かなくなる事が心配でした。

しかし、心配をよそにインストール後に結果から言うとほとんどのソフトはあっけなく動きました。プリンタドライバも問題なく、IE のお気に入りさえもちゃんと引き継いでくれていました。

操作性ですが、Ver. 8 から一新された画面はどうしても落ち着かないので、画面周りは以前のバージョンにすべて替えてしまい、見た目はあまり変わらない感じで使っています。ですので正直使い勝手はあまり変わっていません。全体的には、メニューが開かなくなるなどの不安定さがまだ残っていますが、おおむねよしといった感じです。

使えなくて残念だったのは、4.0TB のネットワーク対応録画用 HDD の再生ソフトで、せっかくため込んだドラマをしばらく見ることができませんでした。実を言うと刑事物・犯罪物のドラマはほとんど見ているので、大問題だったのですが、スマホと同じように

膨大なソフトが手に入る「ストア」から格安ソフトを購入し解決しました。

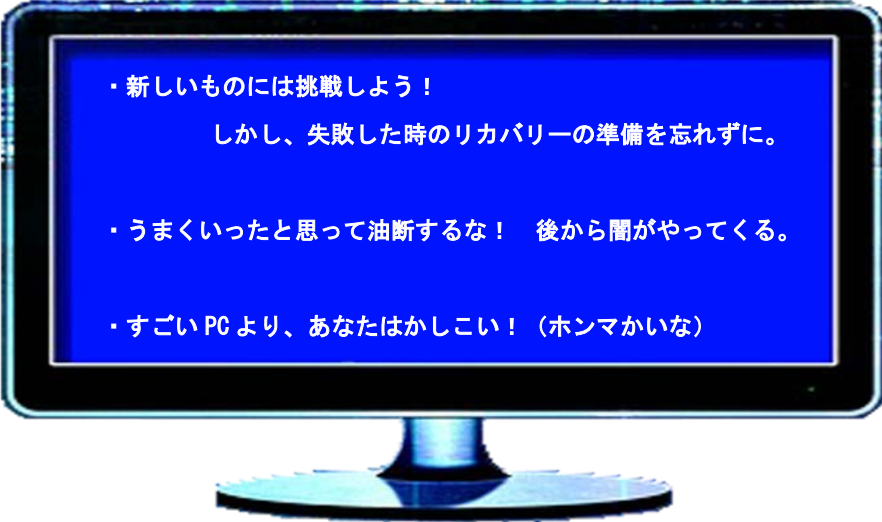
もう一つ残念だったのは USB3.0 の VGA 変換アダプタで、これは USB と外部ディスプレイを繋ぎ、3 台目のモニターとして使用するつもりで購入したのですが、ソフトをインストールして指示に従い再起動すると・・・そこにはいつまでも続く真っ暗な画面が静かに待っていました。この原稿を書いている途中でのことだったのでかなり慌てたのは想像がつくと思います。幸い画面は真っ暗でも、別の PC から共有ドライブにアクセスできたのでデータを避難させることは可能でした。しかし、OS を初期状態に戻すしか復旧の方法がなく、泣く泣くすべてのソフトをあきらめました。失ったソフトやドライバ、バージョンアップ情報等、もろもろ合わせて 141 個。さすがにがっくり来ました。まあ、いらぬソフトの整理ができたと思えば・・・やっぱり悔し～！まあ、この原稿のネタになってみんなのお役に立てたのなら、と思う今日この頃です。

現在はなんとか、常用ソフトの再インストールも一週間かけて進み、何となく普段の操作環境が取り戻せ、やっと見れるようになった貯まったドラマを見たい衝動と戦いながら原稿を書いています。

そういえば、クラッシュ前に苦労してインストールした日本語対応の CORTANA（日本語が話せる Windows 声認識アシスタント）ですが、今日の UPDATE でふつーに使えるようになっていました。といっても手持ちのマイクがしょぼいので、スマホアプリよりも反応が鈍い感じです。試しに「グダグダ書いた原稿を終わらせる方法」と問いかけましたが「グダグダ書いた健康・・・」と認識され、答えは見つかりませんでした。人類の英知を結集した PC ですらできなかったのですから、この原稿はこのまま果てしなく続くのでしょうか？

安心して下さい、ネタが尽きたのでもうやめます。

最後に、今回の教訓です。

- 
- ・新しいものには挑戦しよう！  
しかし、失敗した時のリカパリーの準備を忘れずに。
  - ・うまくいったと思って油断するな！ 後から闇がやってくる。
  - ・すごい PC より、あなたはかしこい！（ホンマかいな）

ではまた、その機会があったらお会いしましょう。

宮尾行雄の

# ウンチク 三昧

今回のお題

秩序について

UNCHIKU-ZANMAI by Yukio Miyao



仕事を辞めて4年になろうとしています。しかし、今も夢の中に「仕事を失敗する」場面が出てきます。驚いて目を覚ますと、内容が無秩序でつじつまが合わない事柄なので「ああ夢か」とまた眠ります。

細胞診断に至るまでの過程は「核の腫大」「封入体」「粘液」「クロマチン」等の様々な証拠を「秩序」だって考えて診断に至ります。これは自然科学では当然のこととっていました。

ところが同じ「秩序」が、次のように使われていました。

#### 【日本国憲法 第13条】

すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

#### 【ある政党の憲法改正草案 第13条】

全て国民は、人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公益および公の秩序に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大限に最大の尊重されなければならない。

ここで使われている「秩序」とはどういう意味でしょう。細胞診における「秩序」だった思考、診断とは異なるようです。「尊重される個人」である私たちが一人ひとり、じっくり考えてみましょう。細胞診と同じように。



# 今この曲が聴きたい

*M. Fujita Presents*

2016年、年明け。いきなりのSMAP解散騒動に芸能シーンが揺れた。SMAPファンならずとも、その行方を大いに注視させられた1週間。結果的には解散回避となったもようで、SMAPファン一安心といったところではあるが、なにしろ1週間の間、毎日、SMAPの話題がテレビ、ラジオ、WEB上を飛び回ったおかげで、必然的にSMAPの楽曲を耳にする機会も多くなったわけである。

SMAPといえば、その代名詞ともいえる国民的スタンダード「世界に一つだけの花」を思い浮かべる方も多いであろう。実際、この解散騒動が報道されるや「世界に一つだけの花」購買運動なるものがネットを中心に広がったりもしたらしい（CDをたくさん買えば解散が回避される、という理屈は理解しがたいが、ファン心理として何か自分たちにできることはないかと模索した結果なのだろう）。そんなわけで、今聴きたい曲は「世界に一つだけの花」かというところというわけではないので、さらに話を続けたい。

個人的にはとくにSMAPファンでもないし、その音楽性についてもとりたてて興味を持ってはいない（ファンの皆さん、ごめんなさい）私だが、ただ1曲だけ、出色の出来と評価してもよい楽曲がある。作詞・スガシカオ、作曲・川村結花による「夜空ノムコウ」である。ご承知のとおり、スガシカオ・バージョンの「夜空ノムコウ」、川村結花・バージョンの「夜空ノムコウ」も（あるいはそれ以外の方のバージョンも）存在し、それぞれに悪くはない。しかし、この曲に限ってはSMAPバージョンが意外に（ファンの皆さん、ごめんなさい）よいのである。なぜだろう。

「夜空ノムコウ」は平成版「上を向いて歩こう」である、というのがかねてからの私の主張である。かの有名な「上を向いて歩こう」の歌詞内容を見ていただければお分かりのとおり、この曲の中で主人公が上を向いている理由はこぼれそうな涙をこらえるためだ。つまり、主人公は恋愛上の問題なのか、仕事に関わる悩みなのか、それが何かはよくわからないが、かなりつらい状況におかれている（しかも一人ぼっちで）。そして、涙をこらえて上を向き、雲の上



星のかけに 見

only one

に、空の上に、あるいは月や星に、幸せや悲しみを想う。ここに存在する憂いが人々の胸に響いたのだと私は解釈する。けっして、「前を、ただ前だけを見て進んでいきましょうぜ！」みたいな力強さを込めた上の向き方ではない。とはいえ、この曲に表出している喜怒哀楽は明瞭でもある。それは昭和（とくに高度成長期）という時代性がそうさせたものと考えたい。

では「夜空ノムコウ」はどうだろう。この楽曲の成功を支えた要因は、おそらく6, 7割がた、スガシカオの詞の世界感にある。だがしかし、この詩の世界が醸し出す感情は実に微妙だ。この曲は明るい曲だろうかと問われたなら、多くの方がそうではなさそうだと答えるだろう。逆に暗い曲かといえば、これもまた違う。けっして幸福と胸を張れる状況ではないが、かといって不幸ともいえない微妙さ。ここに平成という時代の不透明感が垣間見える。スガシカオは「夜空ノムコウ」でそんな時代の空気感を見事にとらえて見せた。

---

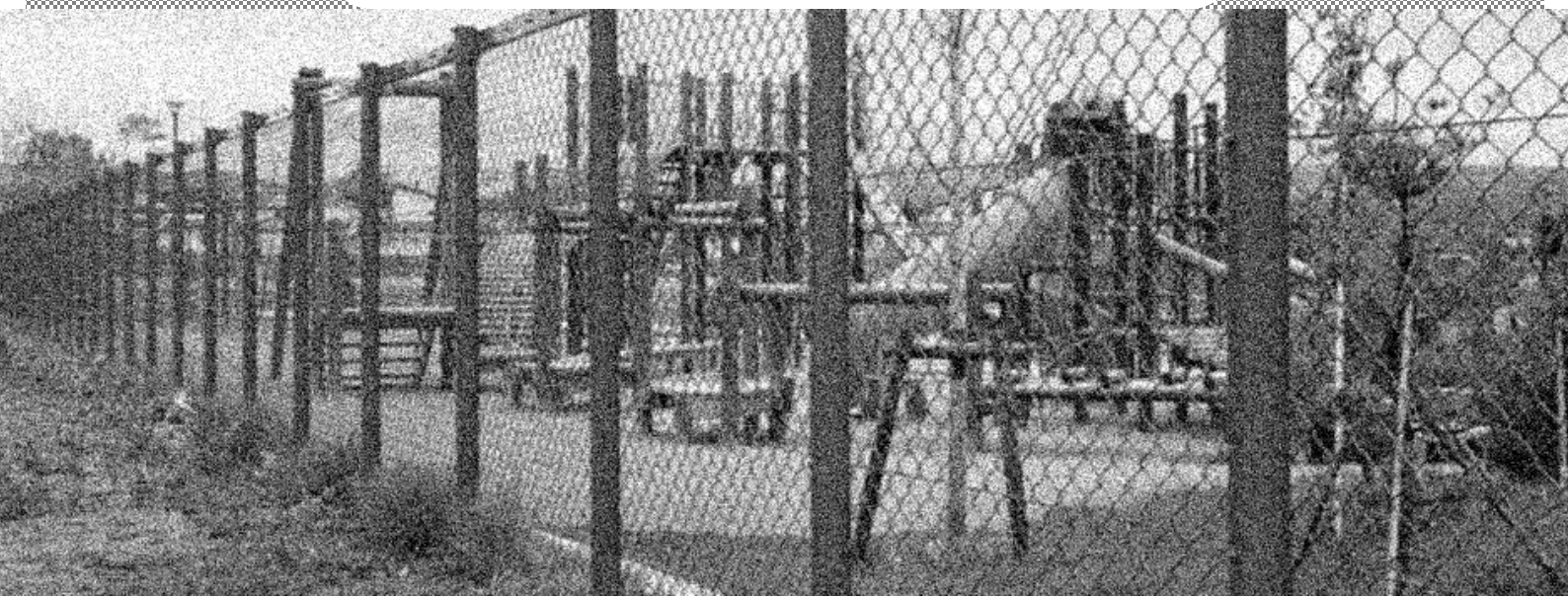
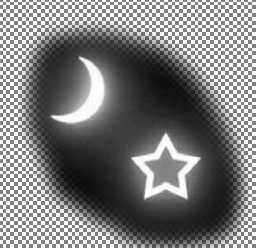
「あの頃の未来に僕らは立っているのかな、すべてが思うほどうまくはいかないみたいだ」——ここに見る断定のない曖昧さこそが平成の空気感に他ならないと私には思える。そして、曲全体を通して漂う曖昧さをたたえた歌詞は最後にこう結ばれる。

「夜空のむこうにはもう明日が待っている」

待っている未来が明るいのか暗いのか、それは明らかにされない。けれど、ここに表現された川村結花のメロディーは我々に希望を、朝焼けのような光を想起させる。だからこそ、今 SMAP が歌うべき歌、今もっとも説得力を持って我々に響く歌、それは「夜空ノムコウ」なのではないだろうか。さらに言えば、「夜空ノムコウ」に関する限り、完成度の高くない歌唱のほうが（ファンのみなさん、重ねてごめんなさい）より説得力を持つようにも感じられる。

---

というわけで、今私が聴きたい曲は、解散騒動がひと段落した SMAP の歌う「夜空ノムコウ」です。



# 大特集



岡山細胞検査士会

## 創立20周年記念講演会・祝賀会

**日時** 2016年 2月 7日 (日) 9:00~14:00

**会場** 症例検討会&講演会：岡山大学医学部保健学科301講義室  
祝賀会：岡山大学鹿田キャンパス内  
記念会館1階レストラン「カフェテリア バンビ」

**会費** 症例検討会&記念講演会・・・参加費・無料  
記念祝賀会・・・3,000円

### プログラム

- 9:00～ ああでもこうでも症例検討会 (2症例)
- 10:30～ 20周年記念講演  
「これからの細胞診：現状と課題」  
川崎医科大学 病理学2 森谷卓也 教授
- 12:00～14:00 記念祝賀会 (会食・公演ほか)  
「公演・あれから20年」 藤田 勝 先生



みなさん、  
ご参加ありがとうございました！

# CTクレジット

IAC 5点  
JSC 5点

主催：岡山細胞検査士会

共催：岡山県医師会

協賛：高塚ライフサイエンス株式会社、株式会社常光  
松浪硝子工業株式会社、アジア器材株式会社

# 岡山細胞検査士会創立 20 年を迎えて

会長 小林博久

岡山県では 1995 年の細胞検査士会発足から 2015 年度で創立 20 年を迎えることができ、これを記念して、今回「岡山細胞検査士会創立 20 周年記念講演・祝賀会」を、去る 2 月 7 日（日）に岡山大学鹿田キャンパス内で開催しました。

創立から現在までには、大勢の役員や会員の努力があり、その甲斐あって今では会員数が 147 名、中四国地域では広島約 190 名に次ぐ 2 番目となっています。全国的に見ればまだまだ会員数は少ないですが、やる気と会員同士の親密さについてはどこにも引けを取らないと自負しております。

さて、記念事業は舟田和幸実行委員長をはじめ、原田美香副会長、山本弘基副会長、藤田勝監事の実行委員チームと、他の役員や実務委員の努力が報われ、参加人数は会員、非会員合わせて 89 名と、今までにないほど大勢の方に出席してもらうことができました。

プログラムとしては、恒例の症例検討会 2 題と、子宮頸がん検診啓発活動報告、協賛メーカーからの情報提供をしていただきました。その後、川崎医大病理学 2 森谷卓也先生による「これからの細胞診 現状と課題」と題して、現在の細胞診検査の置かれている状況から、新しい技術等によるこれからの細胞診や細胞検査士の進むべき方向について講演していただきました。

講演後の祝賀会には 56 名の参加があり、とくに若い方の参加が多く、開催者といましては嬉しい限りでした。祝賀会は、舟田和幸実行委員長の開始宣言から会長挨拶と続き、創設メンバーの三宅康之氏の乾杯を合図に華やかに始まりました。

会の中盤には、我々の活動をいつも支えてくれている岡山大学病院の柳井広之先生と、川崎医大の森谷先生おふたりから、先人が築き上げてきたこの会へのお褒めの言葉と、これからの会員に対する激励の祝辞をいただくことができました。

また、会の後半では、藤田勝・宴（うたげ）担当による 20 年を振り返っての軽妙な話と、懐かしい写真に会場からの歓声や、ため息、笑い声が沸き上がり大変楽しむことができました。それに続く音楽ユニット・2 代目 FUJI/YAMA BROTHERS（藤田勝+山本弘基）のコンビによるウクレレ演奏によりさらに大いに盛り上がることができました。

大いに親睦を図った楽しい時間はあっという間に過ぎ、皆、明日からの仕事への情熱を胸に無事会を終えることができました。



小林会長 開会の辞



ああでもこうでも症例検討会



子宮頸がん検診啓発活動報告



講演「これからの細胞診 現状と課題」

組織診との関係、細胞採取法、検体処理法(LBC 等)や免疫染色と分子生物学的検索について、また、デジタル化としてバーチャルスライドやテレコンサルテーション、画像解析や自動スクリーニングによる精度管理の可能性など、多岐にわたり、森谷卓也先生に細胞診のこれからの進むべき方向を示していただきました。

# 創立20周年記念祝賀会 大写真集











# 公演・あれから20年

岡山細胞検査士会ヒストリー

完全再現版

## Look back on 1995

岡山細胞検査士会が発足した1995年とはどんな年であったか、当時の出来事を眺めながら振り返ってみたい。

この年の1月17日、阪神淡路大震災が発生した。地震の少ない岡山県ではあるが、かつてないほどの揺れを経験された方も多かったであろう(とはいっても、岡山県内は震度4程度であったのだが...)。発生は午前5時46分、まだ薄暗い早朝である。M7.2の巨大地震は、道路を橋脚ごとなぎ倒す、すさまじいまでのエネルギーをあらわにした(写真1)。

この年、オウム真理教信者によって引き起こされた地下鉄サリン事も忘れられない出来事の一つである。3月20日、地下鉄霞が関駅構内で、有毒ガス「サリン」が撒かれ、多くの死傷者が出た(写真2)。

大きな天災、人災の起こった1995年、明るい話題は、アメリカ・メジャーリーグに移籍した野茂英雄投手(当時、ドジャース)の新人王獲得。今でこそ、多くの日本人選手がメジャーリーグに移籍して活躍しているが、その先駆けともいえる野茂投手の活躍は、日本人にとって快挙そのものであった(写真3)。

マイクロソフトのWindows95が発売されたのも、この年のこと(写真4)。あれから20年が経過し、その間にWindowsも様々な変遷を経てWindows10にたどり着いた今日この頃。さて、10年後はどんなことになっているのだろう。

ちなみに皆さんは、この年を代表する漢字1文字がなんであったか、覚えていらっしゃいますか。そうです、「震」でしたね。

# 震



写真1



写真2

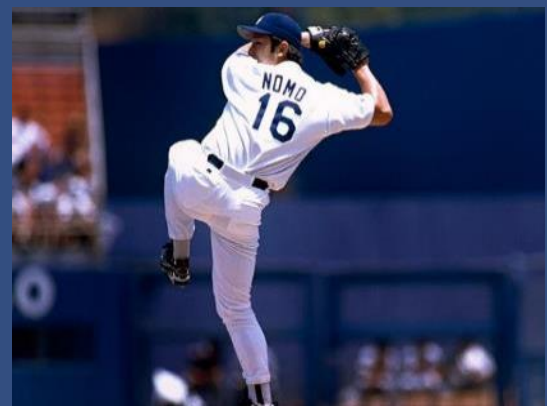


写真3



写真4

## 歴代会長をご紹介(敬称略)

毎度おなじみ、岡山細胞検査士会といえば、歴代会長のご紹介。写真ではなく、あえてイラストでご紹介してまいります。

初代会長は畠榮氏。言うまでもなく、「学術の畠」として、国的にその名はとどろいております。現在の岡山細胞検査士会があるのも、畠さんのおかげ、この業界で「畠さんにお世話になったことはない」という者がいたとしたら、それはモグリの技師でしょう。

2代目は、三宅康之氏。おそらく岡山で最も人望の厚い技師の一人。我々にとっては「アニキ」的存在(ぼちぼち、お父さんの存在、との声も出始めている)。メシよりも酒を愛す、を実践されるにあたっては、どうぞ体調にお気を付けてください。

3代目は、則松良明氏。さすが、内膜侍、抜き放ったウテロブラシが勇ましい(芸の細かいイラストにご注目!)。現在は愛媛県に活動の拠点を置かれておられますが、たまには岡山の会にもおいでくださいね。

4代目の舟田和幸氏。「段取りの舟田」と異名をとり、何事も断らずに引き受けてくださる、優しさあふれた会長でした。今回の20周年記念イベントも、実施委員長として段取りをしていただきました。

5代目は、筆者、藤田でございました。4年間の在職中、主として演芸関係にかまけ、ことあるごとに舞台上がってまいりました。今後もこの姿勢は変わりませんので、必要であればいつでもお声がけください。

6代目は、井上博文氏。イラストは、かつてNHKで人気を博した「たたみ一畳マン」に扮した想像図。掛け声の「マイドッ」も勇ましい。岡山県には珍しい関西弁の使い手であり、多くの商談を成立させてきた(業者さんの協賛獲得に関西弁は効果絶大!?)。

そして、現在の7代目は、小林博久氏。皆さんもご承知の通り、病理理論に精通し、情報処理技術にたけた学術派。

個性豊かな会長とそれを支える役員の方々、そして何より会員各位のご協力のもと、岡山細胞検査士会はこれからもますます躍進していくことでしょう!

イラスト制作:西本菜美、藤田 勝



初代 畠 榮



2代目 三宅康之



3代目 則松良明



4代目 舟田和幸



5代目 藤田 勝



6代目 井上博文



7代目 小林博久

# 活動の歴史をさかのぼる

## 少人数制ワークショップ

- ・1995年 子宮頸部腺癌の細胞診
- ・1996年 子宮体癌の細胞診
- ・1997年 乳腺の細胞診
- ・1998年 肺扁平上皮癌の細胞診
- ・1999年 体腔液の細胞診
- ・2000年 泌尿器の細胞診
- ・2001年 甲状腺の細胞診
- ・2002年 唾液腺の細胞診

## 症例検討、新ワークショップ、講演会

- ・2003年 症例のプレゼンテーション(6症例)
- ・2004年 講演会、細胞検査士ワークショップ(専門)(一般)
- ・2005年 講演会、細胞検査士ワークショップ(専門)(一般)  
**10周年記念講演・祝賀会**  
瀬戸内細胞診セミナー
- ・2006年 泌尿器細胞診の調査とまとめ  
『ずばり言うわよ！子宮内膜細胞診』講演会

## イベント広告の時代

- ・2007年 講演会、精度管理講習会  
二人の講演会(泌尿器)
- ・2008年 講演会  
泌尿器細胞診コントロールサーベイ  
二人の講演会Ⅱ、精度管理講習会
- ・2009年 講演会「泌尿器の細胞診」  
講演会「ベセスダシステムについて」(後援)  
精度管理講習会「ベセスダシステム完全制覇」  
スライドカンファレンス「誤判定症例に学ぶ」

## 大型企画、続々!

- ・2010年 講演会「悪性中皮腫の細胞像」  
精度管理講習会「誤判定症例に学ぶ細胞診3」  
コラボレイテッド・セミナー  
「中皮腫細胞診セミナー&瀬戸内細胞診セミナー」  
学術講演会  
「膵臓疾患を極める(細胞像および画像)」(後援)  
精度管理講習会「誤判定症例に学ぶ細胞診4」

- ・2011年 ああでもこうでも検討会  
LBC講習会
- ・2012年 ああでもこうでも検討会(乳腺)
- ・2013年 講演会、ああでもこうでも検討会  
第66回細胞検査士教育セミナー
- ・2014年 講演会、ああでもこうでも検討会  
新人講習会
- ・2015年 講演会、ああでもこうでも検討会  
新人講習会



2000年1月10日



# Photogallery

YUKIO MIYAO  
SELECTION

## 岡山細胞検査士会メモリアル

\* 日付の特定ができた写真のみ、日付を記載しました。





2012年 7月 14日



2012年 7月 14日



2011年 6月 24日



2011年 6月 24日



2010年 7月 17日



2011年 6月 19日



2011年 6月 19日



2011年 6月 19日



2011年 4月 24日



2011年 4月 9日



2011年 2月 27日



2011年 1月 30日



2011年 1月 30日



2011年 1月 30日



2011年 1月 30日



2011年 1月 30日



2011年 1月 30日



2011年 1月 30日



2010年 2 月 21 日



2010年 2 月 21 日



2009年 7 月 25 日



2009年 7 月 25 日



2008年 10 月 18 日



2008年 10 月 18 日



2008年 10 月 18 日



2008年 7 月 5 日



2000年 2 月 10 日



素晴らしき仲間とともに、次の 10 年をめざして！